



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 クボテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長(経理グループ担当) (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	383	53.8	106		109		112	
29年3月期第1四半期	829	20.3	75		68		60	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 98百万円 (%) 29年3月期第1四半期 66百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.16	
29年3月期第1四半期	4.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	3,303	988	29.9	71.78
29年3月期	3,346	1,087	32.5	78.97

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 988百万円 29年3月期 1,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	19.9	60	75.3	50	106.4	40	101.2	2.91
通期	3,400	24.5	220	742.6	200		170		12.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	13,830,000 株	29年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	62,159 株	29年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	13,767,841 株	29年3月期1Q	13,767,941 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(継続企業の前提に関する重要事象等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の持ち直しを背景に緩やかな回復が続きました。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、事業構造の改革と新規事業・新製品開発の取り組みを継続し、事業基盤の強化に努めてまいりました。引合い、受注は順調に推移しており、第2四半期連結会計期間以降の売上に寄与する見込みであります。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高383百万円（前年同四半期比53.8%減）、営業損失106百万円（前年同四半期は営業利益75百万円）、経常損失109百万円（前年同四半期は経常利益68百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は112百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は259百万円（前年同四半期比60.7%減）、セグメント損失は127百万円（前年同四半期はセグメント利益48百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は93百万円（前年同四半期比11.8%減）、セグメント利益は14百万円（前年同四半期はセグメント損失6百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は29百万円（前年同四半期比52.3%減）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期はセグメント利益22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少しました。流動資産は売上債権の減少195百万円、棚卸資産の増加127百万円などにより、44百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。流動負債は仕入債務の減少124百万円、短期借入金の増加239百万円などにより、85百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少などにより、29百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失112百万円の計上などにより、純資産合計が98百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引合い、受注は順調に推移しており、概ね計画通り業績を確保する見込みであります。よって平成29年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	971,459	979,708
受取手形及び売掛金	926,873	722,866
電子記録債権	92,576	100,686
商品及び製品	9,116	15,089
仕掛品	293,049	416,346
原材料及び貯蔵品	94,840	93,388
繰延税金資産	904	938
その他	29,584	49,938
貸倒引当金	△92,531	△97,435
流動資産合計	2,325,874	2,281,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	204,513	201,241
土地	558,514	558,514
その他(純額)	43,056	40,154
有形固定資産合計	806,084	799,910
無形固定資産		
ソフトウェア	162,405	168,226
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	164,690	170,512
投資その他の資産		
その他	50,049	51,605
貸倒引当金	△238	△238
投資その他の資産合計	49,811	51,367
固定資産合計	1,020,586	1,021,791
資産合計	3,346,461	3,303,318
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	445,119	320,837
短期借入金	1,055,000	1,294,000
未払法人税等	12,840	4,232
賞与引当金	15,660	7,750
その他	335,895	322,956
流動負債合計	1,864,515	1,949,777
固定負債		
長期借入金	337,000	307,500
繰延税金負債	5,048	5,072
退職給付に係る負債	49,931	49,966
その他	2,762	2,762
固定負債合計	394,742	365,301
負債合計	2,259,258	2,315,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△801,815	△914,125
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,068,216	955,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	432
為替換算調整勘定	18,853	31,899
その他の包括利益累計額合計	18,986	32,331
純資産合計	1,087,203	988,239
負債純資産合計	3,346,461	3,303,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	829,767	383,260
売上原価	489,905	280,761
売上総利益	339,862	102,499
販売費及び一般管理費	264,460	209,498
営業利益又は営業損失(△)	75,401	△106,998
営業外収益		
受取利息	42	25
受取配当金	238	280
受取賃貸料	277	277
その他	56	65
営業外収益合計	614	648
営業外費用		
支払利息	3,977	2,795
為替差損	3,842	136
その他	-	4
営業外費用合計	7,820	2,936
経常利益又は経常損失(△)	68,196	△109,286
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,196	△109,286
法人税等	8,019	3,022
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,176	△112,309
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	60,176	△112,309

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,176	△112,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,221	299
為替換算調整勘定	10,795	13,046
その他の包括利益合計	6,573	13,345
四半期包括利益	66,750	△98,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,750	△98,963
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	660,482	106,378	62,907	829,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,502	5,655	12,217	37,375
計	679,984	112,033	75,124	867,143
セグメント利益又は損失(△)	48,956	△6,970	22,143	64,129

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	64,129
セグメント間取引消去	2,159
内部利益の調整額	23
貸倒引当金の調整額	9,088
四半期連結損益計算書の営業利益	75,401

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	259,411	93,851	29,998	383,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,764	6,514	13,392	55,671
計	295,175	100,365	43,391	438,932
セグメント利益又は損失(△)	△127,142	14,748	△1,762	△114,156

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△114,156
セグメント間取引消去	2,351
内部利益の調整額	△5,145
貸倒引当金の調整額	9,951
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△106,998

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、過去継続した営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上するなど、主たる事業である検査機システム事業の受注動向に依存し業績の振幅も大きく、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するための施策に取り組んでおり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、主に日本セグメントにおいて、次のとおりであります。

検査機システム事業においては、有機EL、機能性フィルム向けなど従来の液晶以外の検査機システムの開発、販売を強化し新規顧客の開拓を進め、成長が見込まれる中国市場に注力しております。

さらに、人件費や償却費などの固定費削減に注力し損益分岐点を引き下げ、損益構造の改善に努めております。

また、米国セグメントにおいては、子会社Kubotek USA, Inc.の事業体制を見直し新製品の開発と固定費の削減を含む再建計画を実行しております。

一方、新規事業として安全、低コスト、大容量の蓄電媒体としての次世代フライホイール蓄電システムや、オーディオ事業の研究開発を加速させ、早期事業化を推進してまいります。